

西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究・研修、憩い、自然とのふれあいの『場』として開放しています。

～酒米の生育調査～

→圃場で調査をする生徒



昨年度から始めている酒米作り。今年度は面積を30 aから60 aに増やして栽培を行っています。能代西高農場で栽培しているのは「秋田酒こまち」という品種で、様々な日本酒に使用されています。収穫を間近に控えて作物栽培を専攻している生徒が、茎数と草丈の調査を行いました。生育は順調で、収穫後は喜久水酒造に出荷します。去年出荷した酒米でお酒を作り、創立70周年記念祝賀会で振る舞うことになっています。



←左があきたこまち、右が酒米です

施設野菜部門では「秋田甘えんぼ」という品種を栽培しています。この日は、4月に植えたメロンを収穫し、糖度計を使用して糖度を測定しました。今回の結果では、糖度16度と目標としている20度まで届かなかったものの、



味見をした生徒からは「甘くておいしいメロンができた。20度を目指し栽培分析などの研究をしていきたいです」といった感想が聞かれました。

～メロンの糖度測定～



←糖度測定をする生徒

～豪風関と対面!!～

大相撲の夏巡業「三種場所」が8月18日、秋田県三種町の琴丘総合体育館で開かれ、能代西高校の生徒5名が、(株)農友さんからの協力を得て西高農場でとれたトマトやキュウリなどの農産物や、梅マドレーヌなどを販売し「三種場所」盛り上げると共に能代西高校の取り組みをPRしました。

テントで販売していると、豪風関がテントまで足を運び、励ましてくれるというサプライズもあり、生徒達は豪風関の体の大きさに驚きながらも喜んでいました。



←豪風関と記念撮影

～能代西高の花畑～



西高農場では、「ひまわり」が満開を迎え、その近くにはPTAと生徒が種まきをした「そば」の白い花も咲いています。西高のひまわりは「ハイブリッドサンフラワー」といい草丈が150cmとやや低く、花の咲いている期間が長いのが特徴です。また、そばの実は収穫後そば粉にして「わくわく農業体験」でそば打ちの体験に使用される予定です。どなたでも観賞や来場は自由なので、ぜひお越しください。

